

## 会 議 録

□全部記録    ■要点記録

<b>1 会議名</b>	姫路市総合計画策定審議会 第2分科会 第1回会議
<b>2 開催日時</b>	令和元年8月30日（金曜日） 15時00分～17時00分
<b>3 開催場所</b>	姫路市役所 本庁10階 第2会議室
<b>4 出席者又は欠席者名</b>	<p>姫路市総合計画策定審議会委員 第2分科会 委員 13人中 12人（1人欠席、2人代理）</p> <p>姫路市総合計画策定審議会参与 5人中 2人</p>
<b>5 傍聴の可否及び傍聴人数</b>	傍聴可（5人） 傍聴人（0人）
<b>6 議題又は案件及び結論等</b>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 開 会</li> <li>2 市長公室長挨拶</li> <li>3 分科会会長挨拶</li> <li>4 分科会委員紹介</li> <li>5 分科会の進め方について</li> <li>6 市政の現状説明             <ol style="list-style-type: none"> <li>（1）環境美化について</li> <li>（2）農林水産業について</li> <li>（3）商工業振興施策について</li> <li>（4）観光施策について</li> <li>（5）質疑応答</li> </ol> </li> </ol>
<b>7 議事</b>	<ol style="list-style-type: none"> <li>（1）姫路市総合計画基本構想骨子案について</li> </ol>

(2) 意見交換

8 連絡事項

9 閉会

**7 会議の全部内容又は進行記録**

詳細については別紙参照

事務局	1 開会 (15:00)
市長公室長	2 市長公室長挨拶
分科会会長	3 分科会会長挨拶
事務局	4 分科会委員紹介
分科会会長	5 分科会の進め方について
事務局	[説明資料] 分科会の進め方について 資料1
分科会会長	6 市政の現状説明
事務局	[説明資料] 市政の現状 資料2 (1) 環境美化について (環境局美化部) (2) 農林水産業について (産業局農林水産部) (3) 商工業振興施策について (産業局商工労働部) (4) 観光施策について (観光交流局観光文化部) (5) 質疑応答
分科会会長	・ありがとうございました。質問・意見交換に入る。
委員	・現状の市の取組が良くわかった。総合計画を作っていく立場にあるので、12年前に作られた総合計画で、どの施策がどのように活かされ、どのように行政が動いて、どういう結果が出た、というあたりを説明していただければよかった。計画を作ったからこうなりました、市はこのようにやりました、それに対してこういう問題があって、どのくらい解消できていて、次はどんな課題があります、という説明の方がわかりやすい。そのため、12年前に作られた総計の施策を活かして今どのようなことが行われているのかについて説明をいただきたい。

事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今日はそのような資料が用意できていないので、今後そういったご説明もやっっていこうと思うが、総合計画自体が来年度までの計画でまだ終わっているわけではない。そのため、総合計画全体の評価はまだできていない。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経過みたいなもの、一部だけでもいい。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3年毎の実施計画で個々の事業についての評価をしているので、次回以降に用意したい。</li> </ul>
参与	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回目ということで、「環境」「産業」「観光・スポーツ」という第2分科会で審議する内容について、四つの内容でかなり細かく説明いただいたが、スポーツについての現状と課題についての説明がなかった。スポーツについての考え方を市長公室として述べてほしい。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最初に説明した「分科会の進め方」の資料で書いていたように、分科会の2回目以降で、「観光・スポーツ」分野では三つの政策を、今後論点ペーパーで示していく。その中にスポーツは当然含まれる。その論点ペーパーの中に姫路市の強み弱み等まとめているので、2回目以降でスポーツ分野についても課題等を示していきたい。</li> </ul>
分科会会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・確認だが、今、「観光・スポーツ」という所で、本日はスポーツがないということであったが、最初の環境だけとりあげれば、自然環境の話も含まれると思っていたが、ここでは環境美化、ごみ問題を中心に考えるということで良いのか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然環境もこの分科会の所掌である。本日説明は無かったが、自然環境についても含む。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・勉強のために他の分科会も行ったが、今日のお話でもスポーツの観点が漏れているというご指摘があり、そのとおりだと思う。この総合計画を組んでいくときに、各部局からの説明で、各部局内の問題意識の提示があっ</li> </ul>

	<p>たが、おそらくスポーツは観光とは別の部署でされているので今回は出てこなかったのだと思う。全体の漏れとか、調整するのは大変だと思うが、今日の会議が第1回目の会議で、姫路市で抱えている課題は何かということをお聞きする場であるにもかかわらず、それが今回出てきていないため、姫路市としてのその分野における問題認識が何かわからないということになっている。環境にしても、大気汚染など他の問題も出てくると思うが、今日のごみの話だけであった。企業活動にかかる規制についての話などもなかった。そういったことも含めると、他の委員もおっしゃったように、実績も含めて、今の課題はどうかということをもう少し整理していただかないとなかなか議論が進まないように思う。</p>
市長公室長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご指摘いただいたように抜けている部分もあるとは思う。限られた時間の中で全てを説明するのは困難であるが、そのような指摘もいただいているので、次回以降はそれぞれの分野での課題認識もお示ししながら議論を進めていきたい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・我々は自然界を相手に操業している関係で、ごみ問題に興味がある。海に流れるごみ、例えば台風で河川から流れてくる大木とか、浜辺に流れ着いたごみとか、これは大量に流れていたら船の航行に影響を及ぼす。そのため、自主的に我々も回収しているが、本来、それらは自分たちで処分していた（浜で燃やしていた）し、畑でも処分していた。現在は燃やしてはいけないということで、全てのごみが処分場に行っている。現在の排出量で、エコパークなど処理施設はいろいろあるが、処理がまかなえているのか。</li> <li>・それに関連して、色々と産業廃棄物の処理場建設について、自分たちはごみを排出しているのに処分場は反対と言っている人もいる。このような状況は、市にとって、廃棄物処理の政策を進めるうえで問題は無いか。こういったことに行き詰っている、こういうことが困っているといったことを示していただければ、今後の検討に役に立つのではないかと。</li> </ul>
事務局（美化部長）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・海洋プラスチックの問題が、今大きく世間に取りざたされているが、そ</li> </ul>

	<p>の関係から、国や県が新たな計画を策定している。その中で、海岸に打ち寄せられたごみだけではなく海洋をただよっているごみも課題としている。これまでは漁業者が回収したごみのみに対応し、海底が浅くなってきて困ったときのみ単発的に海底をすくうような対応をしていた。それについて、どのくらいのごみがあるのかを県が量ってみようとか、漁業に及ぼす弊害についてどのような対策をしようかを考えて行こうというところで、まだ答えは出ていない。ようやくこれまで以上にプラスチックだけでなく海洋ごみについての対応を本腰入れて世界的にやっというところで、今後、一定の方向性が1、2年程度で示されると思う。</p> <p>・ごみ処理場については、平成12年以降、ごみの分別が進み排出量は一定量減っている。その当時には最終処分場が全国的にはひっ迫していて、土地も海も埋め立てもできなくなるということで非常に分別に力を入れたが、最近のごみの減量は横ばい傾向にある。そのため、分別だけではなかなかごみが減りきらないので、何よりも資源にしていくことが必要である。また、もっとごみの発生を元から減らすことに力を入れるべきという方に国もシフトしている。そのようにごみ全体を減らすことに加えて、新たな視点や取組をしようということで、ごみ処理場もどんどん少なく、小さくできるよう努力している。一方で、経済が発展すると事業から出るごみは増えるが、それは一概に悪いとは言えないので、資源物は資源にして、どうしても発生するものは最小限にしながら、それでも増えるのは仕方ない。また、それに対応するだけのごみ処理施設を作っていくには、国の補助の関係もあり、小さなものをいっぱい作るということから、広域で大きなものを一つ作る方向で国が誘導している。</p> <p>・姫路市規模になると自前の処理施設を作っており、焼却施設を作るにあたっては地元の理解を得るのに非常に苦慮している。そのため、行政のスタンスとしてはできるだけ情報をオープンにして時間をかけながら理解をいただいて、完全な理解は無理にしても、できるだけ努力を重ね、みんながそれだけやれば十分だという評価をしていただけるくらいに説明をする。その上で、最終的には全市で必要なものなので、姫路市で合理的に選定した場所に作らせていただけるように考えている。それが先程申し上げた、令和14年度を目指して、この2、3年で研究し、さらにその先で、候</p>
--	---

<p>参与</p>	<p>補地選定をして、ここが最適であるということが決まれば、地元にご理解いただくように話し合いをした上で作りたい。そういった方針で今後もやりたいと考えている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2点お伺いしたい。商工業の振興ということで、企業誘致活動（資料2「市政の現状」の「商工業振興施策について」の5ページ）について、この資料は新規企業の誘致ということで書かれていると思う。地元企業の拡張ということもあるが、なかなか姫路市内に移転する場所がない、というところで、市街化調整区域などで市として工業団地を造るなりという対応ができないのかということをお願いしたい。</li> <li>・ 2点目、観光について、関西空港への入国者数を考えると姫路市に来ている外国人観光客はまだ少ないということである。この資料は姫路城だけで統計を取られたり分析されたりしているようだが、その他の観光施設についてのインバウンドなど統計をとったり分析をしたりされているのか。</li> </ul>
<p>事務局（商工労働部長）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 議会からも様々な意見をいただいております。内陸部においても工場用地が確保できないのかという意見はいただいている。平成29年3月に可能性のある適地というものをピックアップし、その可能性について調査して報告書は作成したが、いずれにおいても様々な法規制があり非常に難しいという結果であった。ただインターチェンジの周辺については、半径1km以内については緩和措置があり、北部農山村の基本計画の中でも、北部活性化の観点からこの制度を活用して工場用地が確保できないか考えているところである。ある程度まとまった土地がほしいという企業の要請もあるが、水の問題、下水の問題など、工場を立地するにあたって単に用地を取得する問題だけでなく、インフラの整備など、相当な時間がかかってくる。</li> <li>・ 一方で、7月に改訂された県の港湾計画によると、浚渫土砂を活用して、網干沖などにおいて工業用地用の埋め立てを進めることになっている。今後5、6年後に、用地が完成したら売却していくことになり、これは兵庫県が売却の主体となるが、企業を誘致する姫路市の立場としても課題として捉えて、将来的にはこの土地への工場立地を進めていきたい。あわせて、内陸部への企業誘致についても今後の課題として取り組んでいきたいが、</li> </ul>

事務局（観光企画課長）	<p>相当なインフラ投資、それについての決断が求められるので、姫路市においても相当な負担がある。財政を傾かせるようなことになってはいけませんので、見極めながら対応したい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外国人観光客数のカウントについて、姫路城に置いている外国語の姫路城パンフレットの配布数を入場者数としてカウントしており、どこから来たかというところまではチェックしていない。</li> <li>・駅前の観光案内所については、対応する人についてはどこからお越しになられたかを聞いて対応している。その他については、具体的にどこが多いかということはデータとして持っていない。</li> </ul>
参与	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工業用地については、既存の企業が、姫路市には用地がないので市外に出ていってしまうという話をされている。市外なら良い条件の土地があるということである。中小企業といえども法人税が無くなってしまう可能性もあるので、先行投資していくのかなど、これから10年先を見据えた形を考えなければならない。税金は絶対増えていかないということで、そのあたり再度検討して行ってほしい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「引っ越し大名」を映画館で見、初めて姫路でロケしていたのを知った。そういったことについて事前に情報があれば、応援したいが、どこで情報を得られるのか。</li> </ul>
事務局（観光企画課長）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・撮影がある時に、安全面への配慮などもあり、事前に情報を出すことはできない。公開の時にここで撮影があったというのは公表できるが、事前にとするのは難しい。ただ、過去のロケでも、エキストラの募集とかがあり、そのときに参加いただいて協力いただくとかはある。制作側から事前に知らせるとするのは自粛してほしいと言われている。</li> </ul>
分科会会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まだご質問もあるかもしれないが、時間の制約もあるので次に行きたい。ただ、全体的な問題がご質問・ご意見として出た。次の議事で、基本構想骨子（案）の説明があるので、そちらでもご質問があればよろしくお願</li> </ul>



<p>分科会会長 事務局</p>	<p>する。</p> <p>7 議事</p> <p>(1) 姫路市総合計画基本構想骨子案について</p> <p>[説明資料] 基本構想骨子(案) 資料5-1～資料5-4</p>
<p>分科会会長</p>	<p>(2) 意見交換</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ありがとうございます。</li> <li>・基本構想骨子(案)についてご質問・ご意見あればお願いする。</li> </ul>
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料1に絡む話になるが、第2分科会において、「環境」で政策数が二つ、「産業」で三つ、「観光・スポーツ」で三つ程度でまとめたいというのがある。それぞれどのような政策を考えているのか。</li> </ul>
<p>事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今考えているところとしては、「環境」については自然環境(自然とまちの調和)で一つ、持続可能な循環型社会・リサイクルで一つと考えている。「産業」については、農林水産業で一つ、商工業で一つ、先ほど三つと述べたが、今は二つの方向で検討している。「観光・スポーツ」については、観光で一つ、スポーツで一つという形で整理したいと考えている。</li> </ul>
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・それがたたき台で、これから揉んでいくという理解でよいか。</li> </ul>
<p>事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・はい、この中で今の数よりも増やした方がいいとかは、またご意見をいただいで考えたい。</li> <li>・少し補足をすると、本日説明した分野別のあるべき姿や、論点ペーパーは、10月中旬に第2回分科会を予定しているが、その事前に資料としてお届けするので、またご覧いただけると思う。</li> </ul>
<p>分科会会長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・政策数の案をご提示いただいた。資料1「分科会の進め方について」に挙がっている数から今は若干少なくなっているが、また意見があればプラスするということか。</li> </ul>

事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事務局内で検討している段階では今申し上げた数で、増えすぎるとまとまりがなくなってしまうので、調整しながらではあるが、この分科会の中で、この分野は分けた方が良いといった意見などがあれば、改めて検討させていただきます。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これから色々な案が出て、話し合っ、具体的な事業や提案が出ると思うが、それを実現するための財源は考慮しながら提案すればよいのか。体育会協会で話をしたら、体育館がないとか、トイレがどうかということのいろいろ言ってほしいといわれているが、そのように費用がかかるあたりは、ある程度考慮して発言をしたら良いのか、とにかく言っても良いのか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・非常に難しいご質問だと思う。公室長が挨拶した「夢のある」というところだが、夢を描きながら、一方で持続可能なということも必要である。行動指針にもあるように、人にも限りがあるし、モノにもお金にも限りがある。そのあたり、事務局が提案する政策や施策は、職員からの提案なので、ある程度、財源を意識した取組である。委員の方から提案していただく事業については、フリーな立場でいただければよいが、持続可能なということも主眼においていただきたい。全部を短期的に処理、実現するのは難しいということは委員の皆さんも共通してご理解いただいていると思う。それを中・長期に分けて、時間軸を整理しながら取り組んでいく必要があると思うので、若干そうした部分をご配慮いただければと思う。</li> </ul>
市長公室長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お金の事、財布はこちらできちんと管理する。細かな政策、事業そのものについて全部体系立てて組み立てていただくわけではない。考え方、構想の部分でご意見をいただきたいので、その時にはあまりお金のことは考えずに率直な意見をいただければ良い。実現するかどうかについては、財政を健全に運営することも責務である我々がきちんと検討する。意見としては、あまりお金のこと考えすぎずに率直な意見をいただければよい。</li> </ul>

委員	<p>・観光・スポーツ分野なので、他の分科会で、例えば、教育や健康福祉などで関係がある。教育であれば、学校とか子どもたちのことでスポーツと非常に関係があるし、パラリンピックや障害者スポーツ等は福祉になるが、この分科会でのスポーツという分野は、そこは外しても良いのか。</p>
事務局	<p>・公室長の財源の話と同じで、委員の皆さんの発言に関して、そのあたりを制約するつもりはないので自由におっしゃっていただいて良い。他の分野にまたがる内容については、事務局がその分科会にお伝えするし、各分科会資料や会議録は、他の分科会にも全て提供することで、お互いの分科会の情報共有を進めていきたいと考えている。</p>
分科会会長	<p>・時間もせまってきたので、本日はこれで終わりにしたい。長時間ありがとうございました。最後に事務局より連絡をお願いします。</p>
事務局	<p>8 連絡事項</p> <p>・今後の日程等、連絡</p> <p>9 閉会 (17:00)</p>